

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ASCENT APEX Pink/Green	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.590	ΔRG	0.025	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ASCENT APEX Pink/Green

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ASCENT APEX

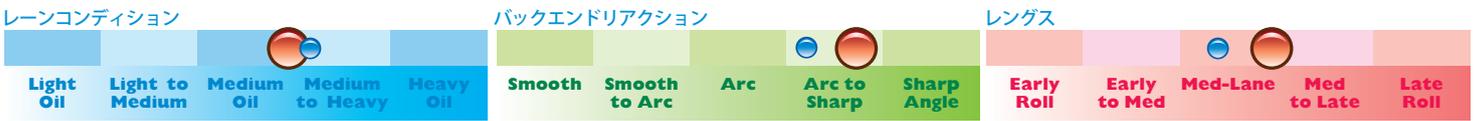
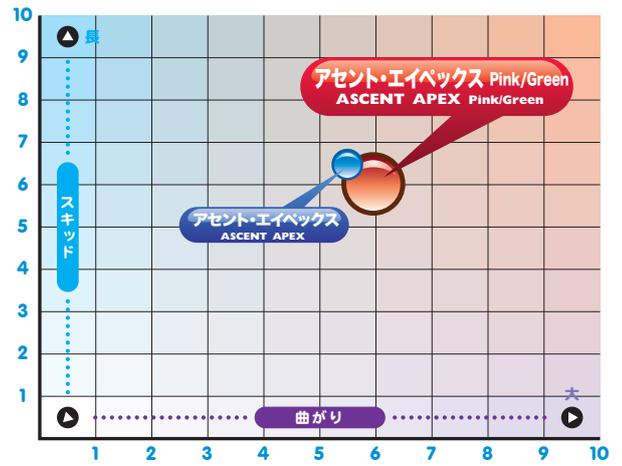
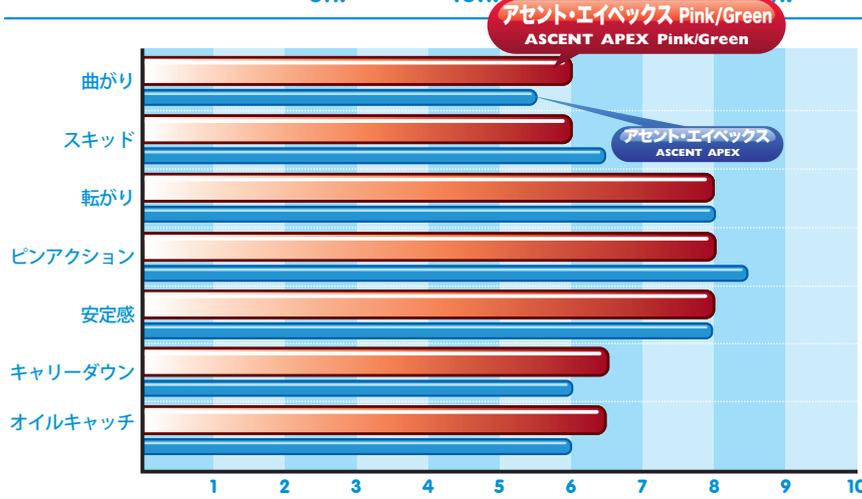
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Rebel TANKと同時期に発売されるASCENT APEX。二つはMOTIV社のmediumコンディション以下の領域をカバーするために開発されました。注目なのはPrimal RAGEに代表されるカバーストックFusion Reactiveの走り系とも言えるThe Fusion XL (Xtra Length) Pearl Reactiveが採用されているということでしょう。そのカバーストックにASCENTでおなじみのRecon Coreとの組み合わせです。Recon Coreは高慣性で低いΔRGをもち、先での角度のでるリアクションが信条です。そのアグレッシブなコアにPrimal RAGEのスキッド系Reactiveと5000 Grit Laser Scan Polishedの仕上げは、mediumコンディション以下で攻撃的にラインを攻める仕様だと言えます。

BlueのASCENT APEXと今回のASCENT APEX Pnk/Grnとの比較投球は、カバーストックの種類もコアおよび数値も全く同じですが、配色と配色に使う原料を変えてパフォーマンスを変化させています。以前MOTIV社のケミカル担当者と話す機会がありさまざまなことを聞くと、同じ赤色でもA社とB社で原料が違えばパフォーマンスも違って現れると言っていました。

それが今回のASCENT APEXで、鮮やかなPinkとGreenのPearlはASCENTによりスキッドとバックエンドでのPowerを与え、入射角への強さと変わります。また最近の傾向としてはGraffiti TAGやASCENT APEXにも言えることですが、全体的にオイルに強いというか、バックエンドのグリップも強くなっている感じがします。よりリアクションが出ているということは喜べますが、ドリルレイアウトや表面加工の調節も視野に入れながら使用することをおすすめします。

特記事項

Primal RAGEに代表されるFusion Reactiveの走り系Fusion XL (Xtra Length) Pearl Reactive搭載。これでまた一つMedium以下のコンディションの武器が増えました。